

総合計画審議会 「養父市総合計画」に対して答申

豊かな自然を生かし 市民と行政の協働を進め 元気のあるまちに

「養父市総合計画」に関して検討を進めていた養父市総合計画審議会（小畑佐夫会長、20人）は11月30日、答申を梅谷馨市長に提出しました。

同審議会は、市民の方からの公募等による委員や市行政改革推進委員の代表からなる計20人で構成。月2回のペースで計13回の会議を開いてきました。同計画は、平成18年度から平成27年度の10年間の計画期間と想定。急速に進む少子・高齢化、国庫補助金の廃止や地方交付税の見直しなどによる財政状況の悪化という厳しい状況を踏まえ、市民と行政の「参画と協働」のもとで、魅力と活力のある養父市づくりを進めるために策定するものです。

今月号では、総合計画審議会の答申内容の概要を紹介します。

まちづくりの方向性を示す「基本構想」

総合計画の基本構想は、10年間の計画期間を想定し、まちづくりの大きな方向性と活性化の「ビジョン」を示したものです。

基本構想の根幹となる基本理念は、次のとおりです。

◆各地域の個性をのびし、夢と誇りと愛着を持って、心を通い合わせ、やさしさや一体性のあふれる「養父市らしさ」を打ち出すまちづくりを進める。

◆「元気で元気」「安心と安全」「自立と協働」を理念として継承し、これに沿った「まちづくりの基本方向（施策の柱）」を①

安心②活力③快適④生きがい・楽しみ・誇り⑤行政改革の推進の5つの柱とする。

◆参画と協働のもと、知恵を出し合ってまちづくりを進める。

また、まちの将来像として、自然豊かな養父市の特性など「養父市らしさ」を明確にして、旧4町地域の良さを生かしながら、一体性のある調和のとれたまちをめざしています。これを表した将来像とサブテーマは、次のとおりです。

「響きあふ心 拓く明日」
但馬中央の郷
～まるごと自然 かがやく瞳
私の養父市は元気です～

実現に向けた施策を示す「基本計画」

総合計画の基本計画は、前述の基本構想の実現に向けた施策の内容を示すものです。「安心」、「活力」、「快適」、「生きがい・楽しみ・誇り」、「行政改革の推進」の5つの施策の柱ごとに基本事業を掲げ、基本構想の実現を図ります。

「安心」では、昨年の台風災害をはじめ、過去の災害の教訓を生かして、地域防災拠点や防災資機材の整備を進めるとともに、住民参加による防災訓練を実施するなどして、自主防災組織等の育成・強化を図ります。また、地域ぐるみでの健康づくり活動や子育て支援も図ります。

「活力」では、培ってきた経験と多様な地域資源を活用し、地域に根ざした新しいビジネスやそれに挑戦するシステムづくりを進めます。さらに、美しい自然環境を生かした特産品開発、豊かな自然を活用した交流型観光産業の振興を図ります。

また、若者が定住するまちづくりとして、学校教育の充実と家庭・地域・社会・学校が連携してバランスのよい教育環境をつくることにも、住宅環境の整備と産業活性化を図り、若者が生きいきと働ける環境づくりを進めます。

「行政改革の推進」では、別に定める「養父市行政改革大綱」により、集中的に行政改革を行うこととしています。

※詳細は次頁の「まちづくりの施策体系表」を参照してください。

今後の予定

養父市では、今回いただいた答申をもとに、住民のみさんの意見をお聞きし、「養父市総合計画（案）」を策定し、3月の養父市議会定例会に提案します。

また、実施計画を各年度ごとに策定し、予算に反映していくこととしています。



梅谷馨市長(左)に対し答申する小畑会長ら